

5 . 費用対効果

B / C 【全体事業】

路線名	国道 1 8 号
事業名	坂城更埴バイパス
延長	L = 3 . 0 k m

便益

(単位 : 億円)

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 1 8 年度			
基準年における 現在価値(B)	7 2	5	1	7 8

費用

(単位 : 億円)

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成 1 8 年度		
単純合計	4 9	3 4	8 3
基準年における 現在価値(C)	4 6	7	5 3

算定結果

費用便益比			
B / C	=	$\frac{\text{便益の現在価値の合計 (B)}}{\text{費用の現在価値の合計 (C)}}$	=
		$\frac{7 8 \text{ 億円}}{5 3 \text{ 億円}}$	
		= 1 . 5	

注) 1 . 費用及び便益額は整数止めとする。

2 . 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。